

マスクケースを寄付していただきました

10月29日、丸宇興業株式会社より、マスクケース1,700枚を寄付していただきました。

「マスクケースをきっかけに、親子でコミュニケーションをとってもらえれば」との思いから、マスクケースを寄付していただきました。

いただいたマスクケースは、町内小学校に配布させていただきました。



マスク等を寄付していただきました

10月23日、しもつけロータリークラブより、マスク1,500枚及び消毒液150本を寄付していただきました。

「冬に向かうこれからの季節に、感染が拡大しないように拡大防止に役立てれば。」との思いから、今回の寄付に至ったということです。

いただいたマスク等は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に活用させていただきます。



本町の歴史を感じながら・・・

11月7日、国登録有形文化財である生沼家住宅の内部が特別公開されました。

生沼家住宅は、大正3年に建築された木造瓦葺2階建ての建物で、平成18年に国登録有形文化財として登録されました。

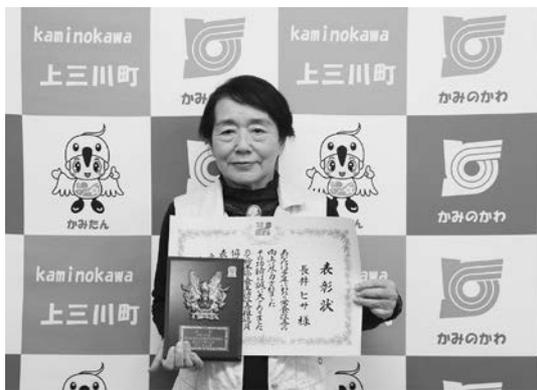
本町を代表する大正時代の商家の住宅を見学した方たちは、町職員の解説を聞きつつ、大正時代から続く長い歴史を肌で感じている様子でした。



栃木県知事表彰を受賞

町食生活改善推進員の^{ながい}長井ヒサさん(大町)が栃木県食生活改善推進員協議会創立50周年記念知事表彰を受賞しました。

長井さんは本協議会に20年在籍しており、役員として活躍する等、多年における食生活改善のための献身的な活動の功績が認められました。



小学校へチューリップの球根を寄贈

10月8日、町更生保護女性会より町立小学校へチューリップの球根を50球ずつ寄贈いたしました。子どもたちの健やかな成長と犯罪や非行に縁のない人生を歩めることを願い、より安全で安心な明るい地域社会づくりのため、今後も犯罪予防活動や各種支援活動を継続していきたいと思います。

小学校にきれいなチューリップが咲くことを楽しみにしています！



新朝プレスと連携協定締結

10月16日、町と株式会社新朝プレスは、本町が目指す将来像の実現に向けて、地域活性化及び住民サービスの向上を図ることを目的に包括連携協定を締結しました。

この協定は県内市町では初めての締結で、今後は企業版ふるさと納税を活用した地域活性化や、本町の魅力のPRに関することなどを連携して取り組んでいきます。



人権擁護委員の^{いなみ かずまさ}稲見和正委員が10月1日付け再任

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、地域の方の人権問題解決のお手伝いや法務局と協力して人権侵害による被害者の救済をします。

町には6人の委員がおり、多くの方に人権を尊重することの重要性を正しく認識してもらえよう、啓発活動や小中学校での人権講話等の活動を行っています。

